

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月27日更新

事務事業名	工業用水道量水器取替え・購入事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春
体系	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進			所属課	上下水道課	担当者名	九重 浩光
	基本事業	40	企業誘致の促進			所属班	庶務料金班	(内線)	1162
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	計量法	成果優先度評価結果	: ⑫
								コスト削減優先度評価結果	: -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	計量法で8年と定められている量水器の交換及び不具合の発生(凍結により損壊したものやガラス面の曇りで検針が困難なもの、等)した量水器を取替え、また不足する場合は購入する事業である。水道量水器は、計量法で、計量器のうち、適正な計量の実施を確保することを必要とされる特定計量器と定められており、計量法施行令第18条で有効期限が8年と定められていることに対応する量水器を設置しなければならない。現在の工業用水道利用件数は7件となっている。平成24年度からは料金徴収業務等の包括的民間委託に含めて取替作業や取替通知の発送等も委託する。
【業務の流れ】	①8年経過量水器を改造し使用可能にする。(業務委託) ②量水器が不足する場合は購入する。
【主な予算費目】	事業費は改造にかかる委託料、通信運搬費(郵送料)及び備消耗品費に支出される。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
有効期限満了量水器(8年経過)の取替え、不具合の発生した量水器の取替えを実施。	8年経過した量水器の改造。不足分の購入。新規立地企業の量水器払い出し。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:取替え対象量水器数	個 料金業務の民間委託に伴い、取替えも委託するため。
イ:新規貸与量水器数	個
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
工業用水道量水器	(単位) ア:工業用水道契約件数 件
	イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
使用中の工業用水道給水装置に、適正な量水器を設置する。	(単位) ア:適正でない量水器の数 個
	イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
工業用水道事業は各事業者の生産活動に欠かせない「工業用水」を常に安定して供給し、料金を納入していただくことで成り立っている。よって量水器が正常に機能することが前提であるので目標値を0とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
①活動指標	ア	個	4	0	0	0	0	0	0	1
	イ	個	4	0	0	1	0	0	0	0
	ア	件	6	6	7	7	7	7	7	7
②対象指標	イ									
	ア	個	0	0	0	0	0	0	0	0
③成果指標	イ									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	37		83		87	84	84
		繰入金	千円	694		211		207	45	45
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	731	0	294	0	294	129	0	129
		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	0	4	4	1	1	1
延べ業務時間		時間	64	0	10	19	3	3	3	3
(B)人件費計	千円	254	0	41	76	12	12	12	12	
トータルコスト(A)+(B)	千円	985	0	335	76	306	141	12	141	

事務事業名	工業用水道量水器取替え・購入事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 量水器については今のところ異常は見受けられず、問合せ等もないため
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 必要に応じて対応する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 工業用水道料金決定収納事務との統合量水器管理により、工業用水道料金が決定できるので、本事務を工業用水道料金決定収納事務と統一を図ることができる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正に対応しており、削減により影響が出る可能性もある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限で対応しており、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象者は一部の企業であるが、セミコンテックパークの立地企業すべてに受益機会があるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民、団体に移行することの出来る業務はない

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

本事業は良好に実施出来ており、現段階で見直すべき点は見当たらない。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						